

全日本大学対抗テニス王座決定試合 出場者向け注意事項

1. 大会出場に際しての注意事項

- (1) 「全日本学生テニス連盟主催大会ガイドライン」を一読し、ガイドラインに沿った行動を心がけること
- (2) 大会期間中は新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行い、本部からの指示があった場合には従うこと
- (3) 以下の事項に該当する場合には自主的に参加を見合わせること
 1. 体調が良くない場合(例：発熱、咳、咽頭痛、味覚・嗅覚障害などの症状がある場合)
 2. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 3. 過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (4) 部員は大会出場の1週間前からの **HeaLo へのインプット**を行うこと
- (5) 大会中、大会終了5日後以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

2. 大会会場内での注意事項

- (1) 会場に入場する際は、毎日大会受付にてチェックインを行い、体温測定を行うこと
- (2) 事前に対戦コート表をHPにアップし、**指定された入場時間に大学団体は入場し、試合終了後は30分以内を目安に速やかに会場から退出すること**
- (3) 大学関係者は、自校の選手の練習や試合ある時間帯のみ入場し、それ以外の時間帯には速やかに会場から退出すること
- (4) 会場内にて密や長時間滞在の原因となる行動はしないこと（陣地の設置やトレーナーによるケアなど。陣地の設置やケアを行う場合は会場敷地外で十分な距離を取った上で設置して行うこと）
- (5) 大会前後のミーティングや懇親会等の開催は基本的に避けること
- (6) 練習・試合中以外は**必ずマスクを着用すること**
- (7) こまめな手洗い、アルコール等による消毒を実施すること
- (8) 会場内・その他周辺で大きな声での会話・応援は控えること
- (9) 他の参加者、大会スタッフ等との距離(できれば2m、最低1mを確保すること)
- (10) 食事については極力会場内で行わないこと（会場内で出たゴミは選手自身が責任を持って持ち帰ること）
- (11) 新型コロナウイルス感染対策上、トレーナーによる試合後のケアは行いません
- (12) 立ち入り可能区域に関しては、**IDに記載してあるエリアのみ立ち入り可能です**

(選手以外の入場者は原則、屋外トイレを使用してください。)

(13) 写真撮影を行う場合は、十分な距離をとり細心の注意を払うこと

3. 選手の試合中の遵守事項

(1) 十分な距離の確保

① ポイント間、チェンジエンドの際は対戦相手、パートナーとの距離を極力2メートル以上確保すること

② 試合終了の挨拶は握手以外の方法で行うこと(審判との挨拶含め)

(2) ラケットや自らの試合で使用するボールなどのプレーに必要なもの以外にはコートサーフェスも含めできるだけ手で触れないこと

(3) タオルの共用はしないこと

(4) タオルは手が触れる面と顔を触れる面を使い分けること

(5) プレー中は手で顔を触れるのを極力避けること

(6) ラケット・水筒をはじめとする用具を他人と共有しないこと

(7) 咳・くしゃみの際は腕で口を覆うこと

(8) 唾・痰を吐くことは行わないこと

4. 会場外での注意事項

(1) 食事を取る際は所属する大学内のみ、**最大4名**での食事とし、食事中的会話は控えること

(2) 市内飲食店での**飲酒を控えること**

(3) 大会期間中の対面でのミーティングの開催は可能な限り控えること

(4) 選手同士の部屋間の移動は必要最低限とし、1部屋に大人数の選手が集まることは控えること

(5) ホテルと会場間の移動中は必ずマスクを着用し、同じメンバーでの移動にすることを推奨する

(6) 人が密集する場での会話は控えること

(7) 大会期間中、大会終了後2週間以内は夜間、外での飲食は控えること

(8) 大会期間中及び大会終了5日後以内、HeaLoへのインプットを継続してください。

5. 試合後のインタビューについて

今大会のインタビューはリモート、もしくは感染対策を十分に実施した上で対面にて行う場合があります。

対象選手には大会本部からお声がけを致しますので、試合終了後速やかにご対応をお願いします。

虚偽の申告及びガイドラインに従わない選手に関しては、今年度中に全日本学生テニス連盟が主催する大会・企画への出場停止及び会場内への立ち入りを禁止する事があります。
全国の代表選手としての「自覚を持った行動」を心がけてください。